

国際社会で
活躍する未来の
リーダーを育てます。



新潟大学グローバル人材育成推進事業

国際センター長からの事業紹介

新潟大学は、平成24年度に「グローバル人材育成推進事業」として国が重点支援する42校のうちの1校に選ばれました。

新潟大学は今まで以上に学生諸君のグローバル化に力を入れています。

私たちが目指すのは、「高い専門性に立脚したグローバル人材」の育成です。

初年次から高度な外国語能力と国際教養を身につけることのできるプログラムを用意し、また専門教育においても外国語能力を育成する教育を推進しています。

社会で活躍するためにはことばによるコミュニケーション能力のほかに職業上の専門知識と教養が必要とされるように、

世界で働くためには、外国語ができるだけでは十分ではありません。

高度な職業人として外国で活躍することができるためには専門の知識が不可欠です。

新潟大学では、例えば、法学部では国際的な法律業務・行政実務・企業活動を担うことができる人材を、工学部では国際社会で活躍できるグローバルエンジニアを、医学部では日本の医師免許に加え、米国医師免許を取得し、世界の医療現場で活躍できる医師の養成を目指しています。

あなたも新潟大学で、外国語を自由に駆使できると同時に教養と専門を身につけたグローバル人材を目指しませんか。



新潟大学国際センター長
教授 桑原 聡
(本事業実施責任者)

留学

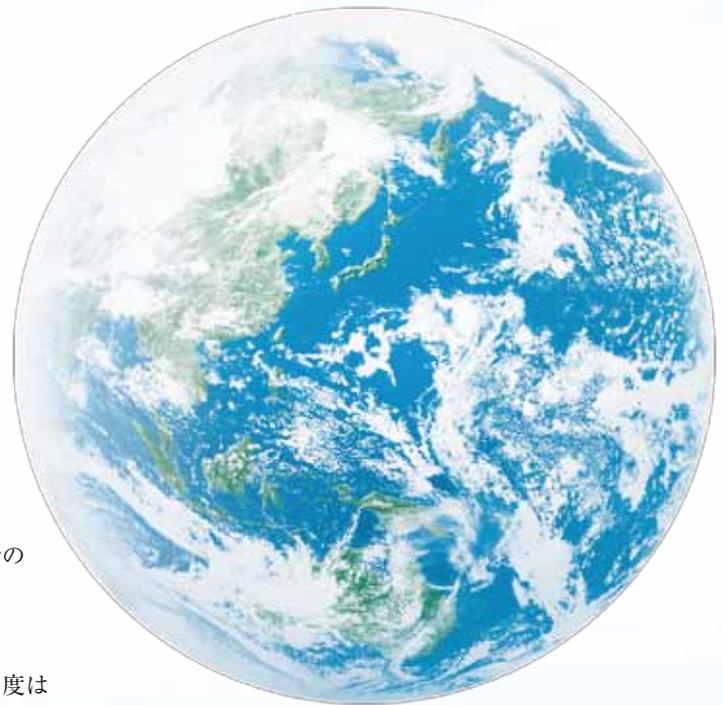
学生のニーズに応じた留学プログラムを提供 奨学金による支援も充実

世間では若者が「内向き志向」と言われていますが、新潟大学では留学する学生数が年々増加しています。

特に短期海外研修については、外国語学習を中心としたものから各学部での専門分野を学ぶものまで、充実したプログラムを揃えています。

大学からプログラムごとに申請する(独)日本学生支援機構(JASSO)の奨学金[※]の採択状況は、全国の大学の中でもトップレベルで、平成23、24年度は短期海外研修参加者のうち、7割前後が奨学金を受給しています。

また、新潟大学では留学生との会話を通して外国語を学ぶことができる“FL-SALC”というスペースを図書館内に設けており、留学前にネイティブスピーカーと会話の訓練をすることができます。

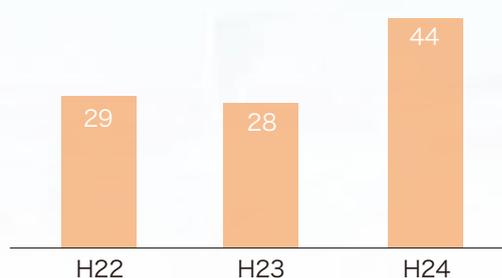


短期海外研修中の英語による発表
(シンガポール)

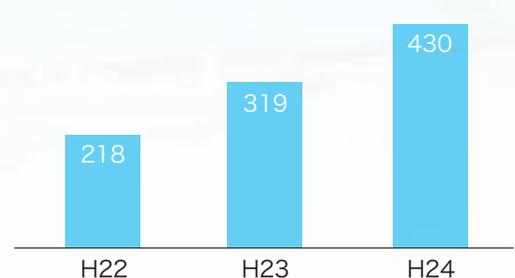


図書館内“FL-SALC”での留学生との英語チャット

交換留学(半年又は1年)



短期海外研修(3ヶ月未満)



[※]平成26年度は「海外留学支援制度(短期派遣)」として、成績基準等、一定の要件を満たす学生に対して、留学先に応じて6~10万円の奨学金が支給される予定です。
31日超の留学の場合は、1ヶ月あたり6~10万円が支給されます。給付型奨学金であり、返還の必要はありません。

S.P.A.C.E (Skills Program for Academic and Content English)

新しい実践英語プログラム“S.P.A.C.E”の紹介

新潟大学では、平成25年度からグローバル人材を育成するための

新しい英語教育プログラムをスタートさせました。

本プログラムで集中的に英語を学習することにより、各自の専門領域で国境を超えて活躍できる素地を築くことができます。

本プログラムでは、少人数クラスにて、主に英語教育を専門とするネイティブ教員から毎日英語を学びます。

3つのフェーズを段階的に学習することによって、

3学期間で一般的な英語だけでなく、専門分野に特有な英語運用能力の強化を目指します。

同時に、留学先でも授業に積極的に参加し、

グローバル社会で活躍することができる異文化間コミュニケーション能力を育成します。



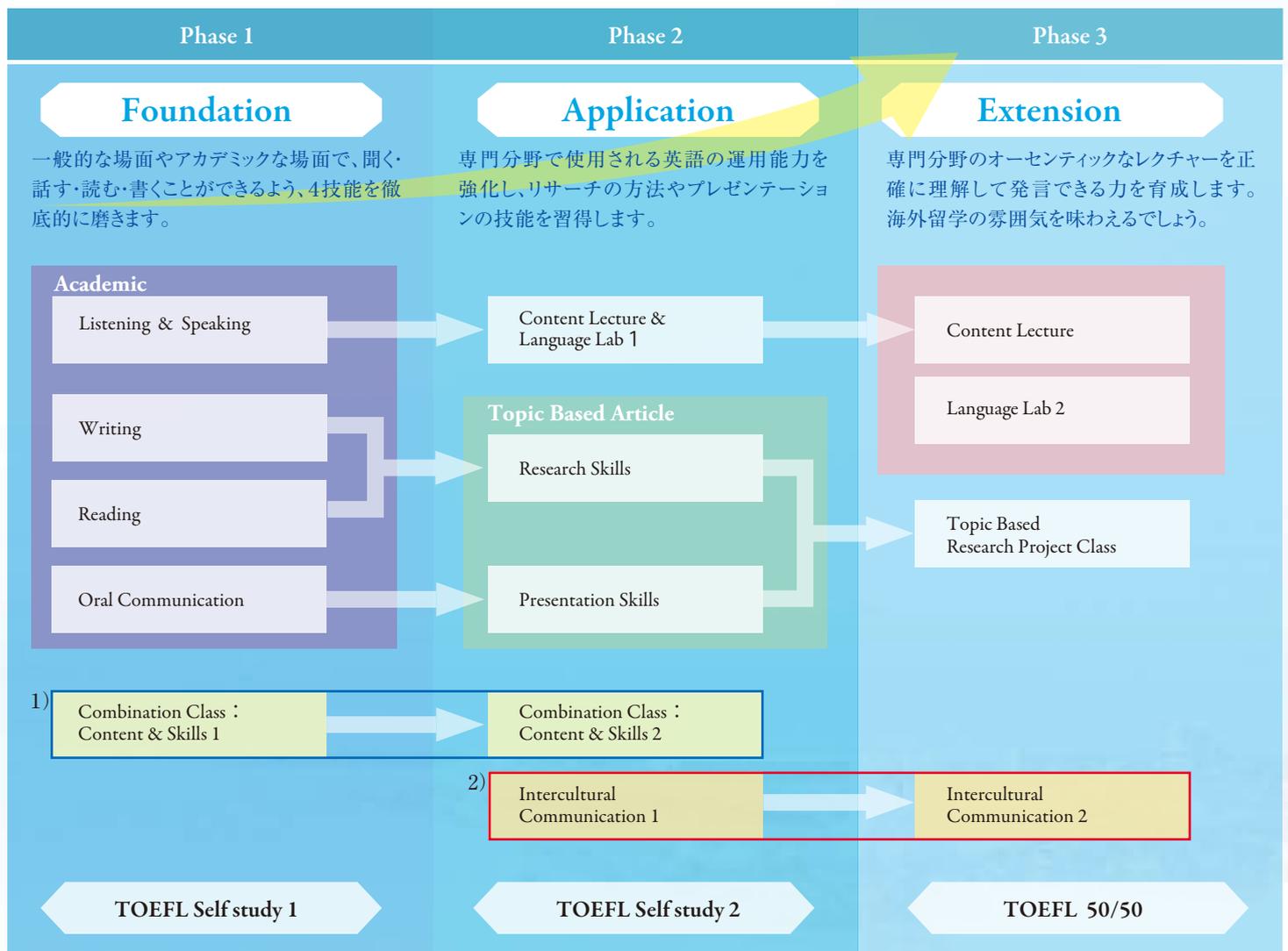
教育・学生支援機構

特任教授 Carmen Hannah

(S.P.A.C.E主担当教員)

Project for the Promotion of Global Competency - English Language Curriculum

S.P.A.C.E (Skills Program for Academic and Content English)



1) は、学部の専門授業で必要となる英語を学びます。

2) は、英語による国際教養に関する授業です。

留学や海外での就業経験を持つ教員の指導のもと、国内外を問わず想定される文化摩擦への対処方法等を一緒に考えます。

※ S.P.A.C.Eプログラムは、平成26年度は法・医・工の3学部の希望者(学部定員の1割程度)のみを対象としますが、順次他学部にも拡大していく予定です。

法

法学部

国際社会と地域社会で活躍

「いつでも・どこでも・だれとでも」意思疎通できるコミュニケーション能力、法や行政に関して外国語で理解・発信する能力を持ち海外で法律業務や経済活動に携わる人材、地域社会において国際的な法律業務・行政実務そして企業活動を担うことのできる人材を目指します。



卒業後の進路や資格について

10年後

国際社会での法律実務活動・企業活動に携わり、グローバル化が国内でもたらす問題を解決する専門家

○法曹資格(弁護士・裁判官・検察官) ○国際ジャーナリスト ○国際機関職員

卒業時点

○公務員(国際公務員を含む) ○企業(法務部を含む) ○法科大学院(Law School) ○大学院(研究者)

外国語によるコミュニケーション能力+法学部学生としての専門知識の修得

グローバル教育プログラム

専門教育

4
年次

外国語による 専門科目

・Introduction to Japanese Law etc.
・協定大学からの講師による
集中講義

カナダ アルバータ大学
「カナダ法政入門(Introduction to
Canadian Law and Politics)」
(英語・通訳なし)

中国 北京大学
「中国政治の現在(Current Issues of
Chinese Politics)」(中国語・通訳付)

韓国 仁荷大学
「韓国政治の現在(Current Issues
of Korean Politics)」
(韓国語・通訳付)

ドイツ ミュンスター大学
「ドイツ法政入門(Introduction
to German Law and Politics)」
(英語・通訳なし)



留学

- ・プリストル大学 (イギリス)
- ・ミュンスター大学 (ドイツ)
- ・ナント大学 (フランス)
- ・アルバータ大学 (カナダ)
- ・北京大学 (中国)
- ・清華大学 (中国)
- ・仁荷大学 (韓国)
- ・漢陽大学 (韓国) など



プチ留学

- 特殊講義
- ・Law and Communication
 - ・Political Science in English
 - ・Law and English in Practice



3
年次

2
年次

1
年次

SPACE Phase 3

SPACE Phase 2

SPACE Phase 1



TOEIC

三段階に分かれた 学部教育

■社会人準備教育

- ・少人数で行う演習で批判的
考察を身につける
- ・Junior Research Paper を作
成する作業を通して文書作
成能力を培う
- ・インターンシップで実務を
経験する

■専門基礎教育

- ・法学、政治学等、将来の進
路に合わせ、それぞれの専
門科目を学ぶ



■基礎教育

- ・一般教養
 - ・基礎科目
 - ・基礎演習
- 「民法法、刑事法、政治学、
外国研究など、法学部で学
ぶための基礎学力を身に
つける」



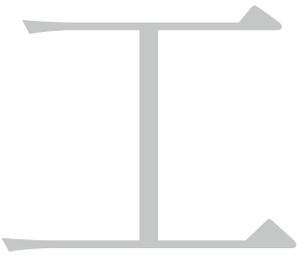
外国語検定試験対策講座+外国語検定受験

プチ留学(集中講義)

サマーセミナーなど

TOEIC

- ・1、2年次に法学部生としての基礎教育を受けると同時に、SPACE、プチ留学などで、英語を集中的に学び、英語で専門科目を学ぶことのできる土台を作ります。
- ・2、3、4年次に、専門基礎教育、社会人準備教育と並行して、外国語により専門科目を学びます。英語だけでなく中国語・韓国語による科目もあります。
- ・卒業時には、グローバルに展開する法律実務や企業活動に対応できる法的知識と外国語能力が身につきます。
- ・プチ留学とは、英語によるコミュニケーション能力(聴く・表現する)を向上することと英語による社会科学系科目を学ぶことを内容とした集中講義です。
- ・外国語検定は、TOEIC、TOEFL、中国語検定、HSK(漢語水平考試)、韓国語能力試験、ハングル能力検定試験等です。



工学部

「工学力×国際コミュニケーション能力」
＝グローバルエンジニア

幅広い基礎力「学ぶ力」と高い専門性を基盤とした新しいものを創造する「つくる力」を統合した「工学力」を身につけ、国際コミュニケーション能力と異文化理解を備えた国際社会で活躍できるグローバルエンジニアを育てます。



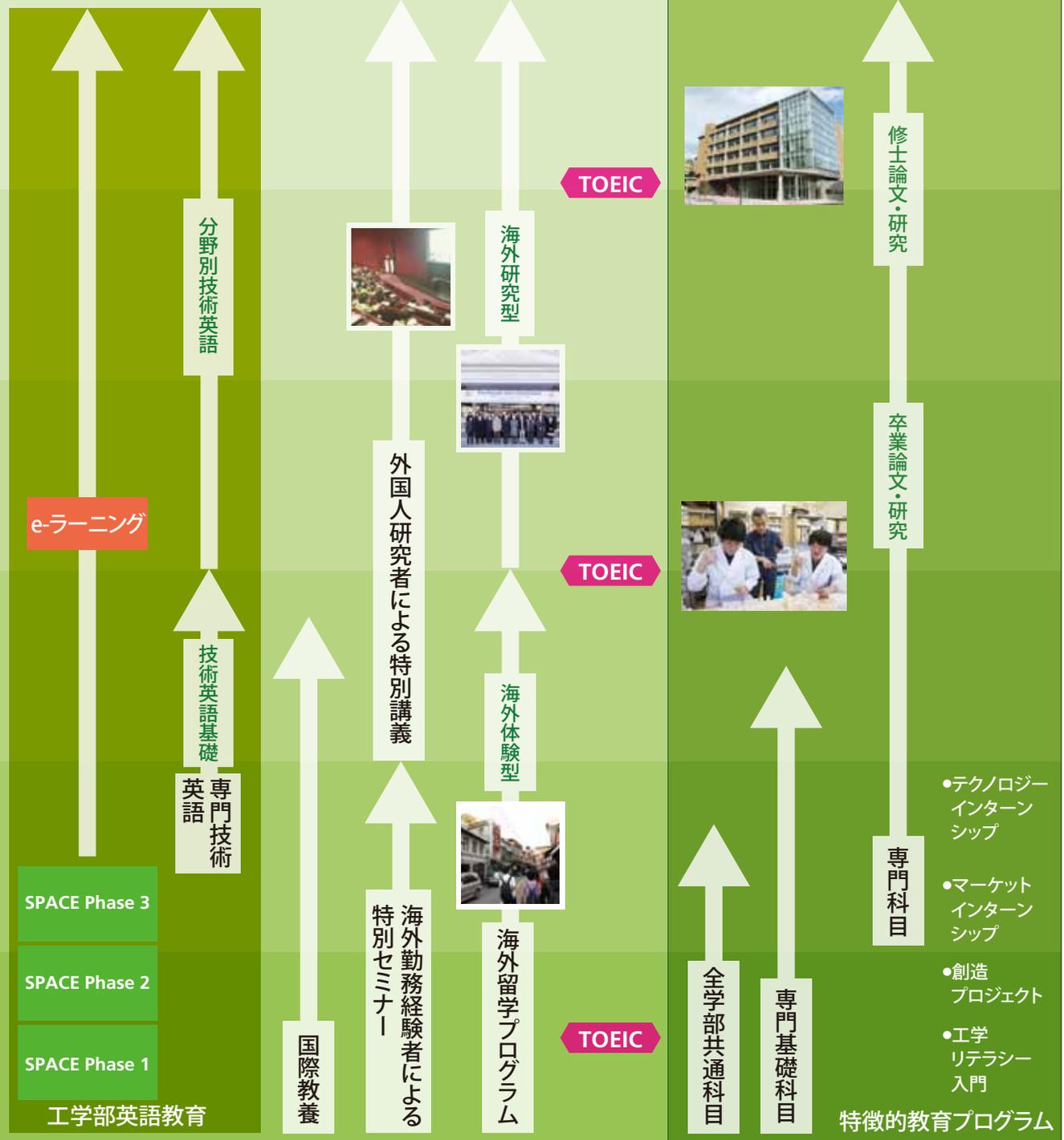
卒業後の進路や資格について

- エンジニアとしての高い技術力を身につけることはもとより、海外で広く事業を展開する企業において海外勤務エンジニアとして要求される客観的基準以上の英語力を修得し、グローバルエンジニアとして活躍できます。
- 博士後期課程において、ダブルディグリープログラム(DDP)により海外の協定締結大学での研究留学を経て、新潟大学と海外大学双方の学位を取得できます。

グローバル教育プログラム

専門教育

修士 2年
修士 1年
4年次
3年次
2年次
1年次



医

医学部 グローバルな視点を持った 医師、研究者の育成

世界の第一線で活躍している医師や研究者の講演、海外での基礎研究、臨床留学などの経験を通して、グローバルに活躍できる医師、研究者を育成します。



卒業後の進路

グローバル化に対応できる医師としての教育を受けた卒業生は、海外での研究、臨床留学を通じて国際的な舞台上で活躍できる人材となる可能性があります。また米国の医師国家試験USMLE(United States Medical Licensing Examination)に合格し、米国医師免許を取得し、臨床研修実施後、米国で臨床医としてのキャリアを積むことも可能です。このプログラムは、新潟大学医学部卒業生が、日本国内で医師として活躍するだけでなく、全世界を舞台にした医師として活躍できることを全面的に支援します。

グローバル教育プログラム

医学部教育

6
年次

海外での臨床医学研修

●ミネソタ大学
(米国) など

USMLE
(米国医師免許)

受験に挑戦

TOEIC

●卒業試験

●臨床実習Ⅱ
(クリニカルクラークシップ)
●臨床医学講義

●臨床実習Ⅰ
(患者に接した臨床実習)



●臨床医学講義
●臓器別統合カリキュラム
(臨床に必要な病気の基礎知識)
●病理系
●医学研究実習
●基礎医学・社会学系
●臨床実習入門
(臨床に必要な基本技能)

5
年次



海外での基礎研究



海外の著名な医師・研究者による定期的な講義

医学部生のための英会話講座

MEET
Medical English
Exploring Time

●基礎医学・病理系
(病気の基礎知識)
●総合臨床医学
●基礎医学・社会学系

4
年次

3
年次

[姉妹校]
●ミネソタ大学
(米国)
●ケバングサン大学
(マレーシア)
●ハルビン医科大学
(中国)
●ファー・イースト医科大学
(ロシア) など

海外医学部での短期研修

●基礎医学・生理学
(正常の人体の基礎知識)
●基礎医学・社会学系

2
年次

SPACE Phase 2

TOEIC

●全学共通科目
(一般教養)
●早期医学体験実習

1
年次

SPACE Phase 1

グローバル人材育成に向けた 全学的取組



人文学部

休学せずに海外研修&留学が可能!

人文学部では、1年生から4年生まで一貫して外国語を学ぶことができます。海外の協定校への留学も支援しており、4年間の在学期間中に休学することなく海外研修や留学を経験して卒業することが可能です。定期的に留学ガイダンスも行っています。また、外国人留学生との交流会などもありますので、十分に準備をした上で安心して海外に出かけることができます。



理学部

海外姉妹校と、英語での研究発表会などを開催

理学部では希望者にオーストラリアのモナッシュ大学・アメリカのイリノイ大学での科学英語研修を行っています。また、海外姉妹校の釜慶大学校（韓国）、中山大学（台湾）と新潟大学の間で順番に自然科学の発表会を行っています。この研究発表会では主に学生が中心となって英語で発表し、活発な討論が行われます。2013年は新潟大学で開催しました。



第3回自然科学国際会議(ICNS2013)



モナッシュ大学科学英語研修

教育学部

教育を基軸に世界へアプローチする

教育学部では、中国の交流協定校との間で単位互換可能な留学プログラムを用意し、多くの学生が留学しています。

また、異文化交流として、スポーツ系では「アジア大学スポーツ交流プロジェクト」、美術系では海外視察研修、音楽系では海外のアーティストや大学生との演奏交流等、各国の大学と盛んに交流しています。



歯学部

口腔保健医療分野におけるグローバル人材育成

JASSO海外留学支援制度により、過去3年間で55名の歯学部生を海外に派遣しています。派遣先ではそれぞれの国や地域の特性を生かした研修プログラムが生まれ、現地歯学部学生との交流を深めるとともに自己研鑽に努めています。また、国際交流サークル「NEXUS」を立ち上げ、交換留学生の受け入れ支援等、さまざまな活動をしています。



経済学部

経済学部生が国際的に通用するために

経済学部では、海外の提携大学と交流協定を結び、学生が留学できるほか、学部の専門科目として英語の「国際コミュニケーション」を開講しています。

基礎演習、講義、演習で最大12科目を用意しており、主に英語を話す・聞く能力を高めることを目的としています（年度によって開講しない科目もあります）。



農学部

国際スキル向上へ向けた取組

新潟大学農学部が主体となり、交流協定を締結している海外の大学から招待者を招聘する形式で開催される「農学部国際シンポジウム」、マレーシアアプトラ大学が主催し、農学部生の相互理解と経験の共有をはかる目的で開催される「世界農学部学生会議」に参加することで、農林学の専門性に配慮しつつ国際的な視野から、英語運用能力を向上させることができます。





新潟大学

NIIGATA UNIVERSITY



グローバル人材育成推進事業について → 新潟大学国際センター 025-262-7628

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地 URL <http://www.niigata-u.ac.jp/intl/ghrd/> 携帯 <http://daigakujc.jp/niigata-u/>

※グローバル教育プログラムの履修や留学が全員に義務付けられるわけではありません。